

機器紹介

令和3年度に公益財団法人JKAの補助金により整備した機器を紹介します。

●三次元測定機

【概要】

製品の三次元形状を広範囲に測定し、平面部や曲面部の形状の寸法を高精度に評価する機器です。

【メーカー】 株式会社ミットヨ

【型式】 LEGEX776

- 【仕様】
- ・測定範囲
X:700, Y:700, Z:600mm
 - ・最大積載重量
500kg
 - ・最大許容長さ測定誤差 $E_{0,MPE}$
 $0.38 + L/1000 \mu\text{m}$ (L=測定長mm)
 - ・シングルスタイラス形状誤差 P_{FTU}
 $0.45 \mu\text{m}$



TOPICS

■ ■ものづくりDX導入機器説明会を開催 ■ ■

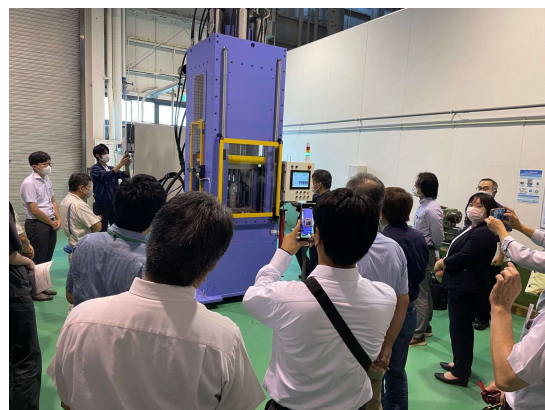
当センターでは県内企業のものづくりのDX化を推進するため、「バーチャル試作ラボ」として、金型などのものづくりに関する設計から解析、試作、検査まで一環して検証できる機器類を整備しました。

9月22日に、導入した7つの機器の説明会と見学会を開催しました。

- (1) 非接触式三次元スキャン装置、薄板成形検査システム
- (2) 鍛造解析システム
- (3) 薄板解析システム
- (4) 構造解析システム
- (5) 材料物性検証システム(材料試験機)
- (6) 成形検証サーボプレス
- (7) ナノフォーカスX線CT装置

23名の来場と、17名のオンライン参加があり、「試作のコストや工数の削減に期待ができる。」「自社製品への活用方法について貴重な情報が得られた。」などの声が寄せられました。

今回紹介した機器は、「バーチャルものづくり研究会」でも利活用を図っております。ぜひ、お問い合わせください。



■■ 令和4年度研究成果発表会を開催 ■■

7月14日に令和4年度研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面の方にご参加いただきました。今年度は当センターをメイン会場に、県庁18階(コワーキングスペース)にサテライト会場を設け、オンライン配信も行い、メイン会場42名、サテライト会場24名、オンライン57名の計123名の参加がありました。

令和3年度までに終了した研究の成果について、口頭6テーマ、ポスター9テーマの発表を行いました。また、当センター会場では最近導入した機器の見学会を行い、17名の参加がありました。

参加者からは、研究の内容や試作品等について、活発な質問や意見交換が行われました。

なお、口頭発表テーマ、ポスター発表テーマの概要をまとめた予稿集については、当センターのホー

ムページ(トップメニュー→ライブラリー&リソース→定期刊行物→研究成果発表会 予稿集)に掲載しておりますので、ご覧ください。



当センター会場



サテライト会場(県庁18階)



機器見学会の様子

<表紙の説明>

ナノ粒子解析システムの測定画面です。画面上の白い粒は粒子の散乱光を表し、これらの動きを追跡することにより、ナノ粒子の個数や粒子径分布を測定することができます。この画像はリアルタイムで確認できるため、異物混入や粒子の凝集等も観察することができます。



鹿工技ニュース No.139

2022年10月号(年4回発行)

<https://www.kagoshima-it.go.jp>

【発行元/問い合わせ先】

鹿児島県工業技術センター 鹿工技ニュース等編集委員会

〒899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田144-5-1

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111 (禁無断転載)

